

「浅水代かき実践会」(JA南国市稲作部会及び営農課主催)

日時：平成25年3月29日(金) 10:00~11:45

場所：JA南国市南部営農センター周辺圃場

参加者：20名(内訳：JA南国市管内水稲農家13名程度、JA南国市職員、県職員)

内容

物部川清流保全推進協議会の「濁水対策を進めるワーキング」では、流域で水稲栽培を営む農業者に代かき濁水の現状と対策を理解してもらうことが重要であるとして、各関係機関による広報に加えて、啓発チラシの配布や各種会議での周知などの広報活動を展開しています。



このたび、こうした活動の一環として、JA南国市稲作部会及びJA南国市営農課の主催により、代かき時期の農業濁水対策(浅水代かき・止水板の利用)についての実践勉強会が開催されました。

はじめに中央東農業振興センターから、環境に配慮した水稲栽培に関する他府県の取り組み状況についての情報提供を受けた後、JA南国市稲作部会役員が実演する浅水代かきの様子を見学しました。

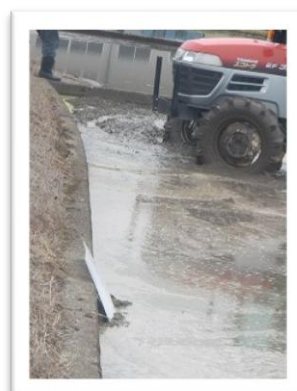
その後の意見交換では、実演をした部会役員の方から「天候等の条件によるが、**浅水での代かきは環境への意識を持てば実践できることだ。**」とのお話があり、浅水で代かきをすることで稲藁が浮いてこなくなるといった利点の紹介や、冬場の圃場管理の仕方、トラクターの進行速度などについて情報交換が行われました。

JA南国市では今後もこうした啓発活動を継続して取り組むとしており、今後、管内全体への広がりを見せようとしています。

「濁水対策を進めるワーキング」では今後も、こうした取り組みを通じて、ひとりでも多くの農業者の理解が得られるよう広報活動を継続していきます。



☆代かき前の圃場の様子。土の表面が5割ほど見えています。



☆止水板で排水口をしっかりふさぎます。